



# つくばSDGsアワード つくばSDGs部門 受賞取組紹介

名称	リサイクルを推進する会 様
取組タイトル	つくばリサイクルマーケット
取組内容	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 「つくばのごみを宝の山に!」を合言葉に、1994年から<b>28年間</b>継続して「つくばリサイクルマーケット」を開催しています。</li><li>■ <b>出店料の1割</b>を被災地や慈善活動に寄付したり、<b>衣類・文房具</b>を困窮地域に寄贈したりするほか、筑波学院大学と連携しリーダーシップや組織運営などについての<b>考え方やノウハウ</b>を次世代に伝えるなど、様々な活動を行っています。</li><li>■ これまで<b>100回以上</b>のマーケットを開催し、延べ出店数は<b>6,182店舗</b>、来場者数は<b>5万人</b>に上ります。</li><li>■ この取り組みによって多くのモノがリユースされ、「<b>ゴミになるものを減らす</b>」ことにつながりました。</li></ul>





# つくばSDGsアワード つくばSDGs部門 受賞取組紹介

名称	一誠商事株式会社 様
取組タイトル	病気と闘う子供たちに安らぎを提供： キッズハウスプロジェクト
取組内容	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 誰もが平等に医療を受けられる社会、子どもたちが安心して暮らせる社会を目指しています。</li><li>■ 筑波大学附属病院で陽子線治療を行う小児がん患者とその家族に対し、通院期間中1泊1,500円で滞在施設を提供しています。</li><li>■ この施設は、家具家電・生活用品一式が備え付けられ、着替えがあればすぐに利用できるよう整備されています。</li><li>■ 滞在中の住居トラブルへの対応や、水道光熱費も一誠商事株式会社が負担しています。</li><li>■ 2016年から2022年12月末までに105組のご家族が利用され、利用者からは感謝のお手紙をいただいています。</li></ul>





# つくばSDGsアワード つくばSDGs部門 受賞取組紹介

名称	けんがくまちづくり実行委員会 様
取組タイトル	けんがくハロウィン
取組内容	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 研究学園駅周辺の市民団体同士の連携を広げるとともに、地元商店・企業との交流を深め、地域の賑わいづくりや良質なまちづくりを目指しています。</li><li>■ 2022年10月30日、学園の杜公園で「けんがくハロウィン」を開催し、トリックオアトリート、ゴミ拾い&amp;ゴミ袋アート、仮装コンテストなど、3つのイベントを実施しました。</li><li>■ イベントを通して、市民団体同士の緩やかな関係性や、市民団体と地元商店との協力関係が構築されました。</li><li>■ イベントには600人以上が参加して地域に賑わいが生まれ、多くの参加者とともに行ったゴミ拾いにより美しいまちづくりにも貢献しました。</li></ul>





# つくばSDGsアワード つくばSDGs部門 受賞取組紹介

名称	茗溪学園JRC同好会 様
取組タイトル	学校の畑を通して「つながる」活動
取組内容	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 「食品ロス削減」と「地域とのつながりの拡大」を目指し、畑づくりを通して地域・世界とつながる活動を続けています。</li><li>■ 学校の食堂から出る野菜くずをコンポストで堆肥化し、その堆肥を活用して学校の畑で農作物を育成しています。</li><li>■ 地域住民や卒業生から農作物の種・苗の提供を受けるなど、多くの方々から助言や協力をいただきました。</li><li>■ 畑でとれた農作物をウクライナからの避難民の方々や、地域の子ども食堂に寄付しました。</li><li>■ 海外の学校との交流や、国際会議への参加など、“Think Globally, Act Locally”の精神で活動していきます。</li></ul>





# つくばSDGsアワード つくばSDGs部門 受賞取組紹介

名称	北原 琉愛 様
取組タイトル	生理のタブー視をなくす
取組内容	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 生理をタブー視する社会の雰囲気によって、生理痛やPMS（月経前症候群）といった<b>女性特有の悩みに理解が進まず、女性が苦しんでいる</b>現状を課題に感じ、「生理」の正しい知識を広めるために<b>2回のワークショップ</b>を実施しました。</li><li>■ 1回目は学校内で<b>男子生徒12名</b>と話し合い、「生理とは何か」について学びを深めました。2回目はBiviつくばの交流サロンにおいて広く<b>一般の方々</b>と「生理の貧困」について話し合いました。</li><li>■ その結果、ワークショップの参加者からは「生理について話すことに<b>少し抵抗がなくなった</b>」という声も上がり、生理に対する理解が深まりました。</li></ul>

